

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業			会計	款	項目	大専	小専
				01	03	02	05	02
02	05	02	58					
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	村山 智章			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保育所（園）に入所している病児回復期の児童と保護者	意図	保育所（園）へ通所できない病児回復期の児童を保育することにより、保護者の就労等を支援する。
事業内容	児童が回復期に至らない場合であり、かつ症状の急変が認められない場合、又は、児童が病児の回復期にあり集団保育が困難で安静を必要とする場合に、市内3か所の私立保育園で預かり、保護者の就労を支援する事業である。			
事業開始から現在までの状況変化	平成16年4月1日に「わらしこ保育園」、平成17年7月1日に「南流山聖華保育園」でこの事業がスタートしたが、南流山聖華保育園は、看護師の配置が困難となり事業の継続が出来なくなったことから、平成29年3月末を以って終了とした。平成29年4月1日から「オハナゆめキッズハウス」で病児保育、平成30年1月4日から「けやきの森保育園西初石園」にて病後児保育事業を開始し、事業の実施箇所数は市内3箇所となった。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用者数（年度ごと延人数）	129	315	369	人	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 利用者が増加しており、特に病児保育事業の需要が高まっていると考えられる。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,392,500	16,151,200	24,937,900				
事業費(b)(円)		8,706,000	15,480,000	24,278,700				
うち一般財源		8,706,000	15,480,000	8,525,700				
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	病児保育の実施について、研究し具体的に検討する。	③取組における課題(Check)	ニーズの高い病児保育の導入施設の拡大について研究が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	病児保育の増設について研究した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	利用者の動向を把握し、適正な実施体制と実施事業者を検討する。